

別紙 2

循環型社会形成推進地域計画等策定業務委託プロポーザル審査基準

1. 基本的な考え方

企画提案書及びプレゼンテーション評価、それに対するヒアリングにおいて、各審査委員の総得点の合計を審査委員数で除した平均点が最も高い参加者を最優秀提案者とします。

2. 主観評価点の評価方法

各審査委員は、後述の評価項目に基づき審査を行います。各評価項目は以下の5段階で評価し、それぞれの配点に乗じて算出します。

S：非常に優れている（配点 × 1.0）

例：「極めて優れた提案内容である。課題に対する深い洞察で、革新的な解決策が明確に示されている。」

A：優れている（配点 × 0.8）

例：「期待される水準を超える提案や工夫が随所に見られる。実現性の高い解決策が明確に示されている。」

B：満足である（配点 × 0.6）

例：「提案内容も具体的かつ妥当である。課題解決へのアプローチが示されており、特段の問題はない。」

C：やや劣る（配点 × 0.4）

例：「不明確な点が見られる。課題認識がやや不十分であるか、解決策の具体性に欠ける部分がある。」

D：劣っている（配点 × 0.2）

例：「不明確な点が非常に多い。課題認識が不十分であり、解決策も具体性に欠け、期待される水準に達していない。」

3. 客観評価（提案価格）の算出方法

* $20 \text{ 点} \times (\text{提案価格のうち最低価格} / \text{提案価格})$ （小数点未満切捨）

* この方法により、最も低い提案価格を提示した参加者が満点（20点）となり、他の参加者はその価格に応じて得点が按分されます。

4. 最終総合評価点

審査項目 (大)	審査項目 (中)	評価の視点	配点
事業実績	類似業務実績	循環型社会形成推進地域計画または可燃ごみ中継施設整備に係る基本構想・計画策定業務の元請実績を有するか。	10
業務体制	業務実施体制	業務を円滑に実施するための技術者配置、実施体制、及び効率的かつ現実的な工程計画が適切に整備されているか。	10
地域特性・ 課題把握	現状と課題の把握	勝浦市の廃棄物処理現状（データ分析含む）と課題、既存施設等を十分に把握・抽出できているか。	10
	計画・構想の整合性	循環型社会形成推進地域計画と廃棄物運搬中継施設が一体的に策定され、上位計画と整合し実現性のある内容か。	10
	提案内容の独自性・創意工夫	仕様書事項に加え、地域の実情に応じたごみ減量・リサイクル促進、中継施設設備検討、既存施設有効活用夫のある提案がされているか。	10
	成果品の明確性	提案資料が簡潔に分かりやすく作成され、成果品のイメージが明確に示されているか。最終成果物（計画書、構想書など）の構成概要やデザインが分かりやすく提示されているか。	10
提案内容	提案内容の具体性（施策・構想）	ごみ減量・リサイクル、プラスチック資源、生活排水対策など、目標達成に向けた具体的かつ体系的な施策が立案され、中継施設構想が設備検討、候補地調査、概算事業費等を含め具体的に検討・提示されているか。	10
	事業者の遂行能力	業務遂行が可能な経営基盤を有し、会社、現場代理人及び主任技術者が本業務に類似する業務の受注実績及び遂行能力は十分か。	10
客観的評価	提案価格	20点 × (提案価格のうち最低価格 ÷ 提案価格) 小数点未満切捨	20
	小計 100 点		

主観評価点 + 客観評価 = 最大 100 点満点